

阿波市全庁評価シート 平成21年度実施事業対象

PLAN	No.	18	1	基本事務事業名	介護保険低所得者負担対策事業	事務事業名	社会福祉法人等による利用者負担軽減制度事業	公的関与	1	シート作成日	平成22年6月14日		
	部局名	健康福祉部		課名	介護保険課	主務課長名	坂東 重夫		シート作成者名	秋山 雅彦			
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input checked="" type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託		
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等		
	総合計画	基本構想(政策)		2. 安全・安心のまちづくり			実施計画		事業の開始・終了				
		基本計画(施策)		(4)高齢者施策の充実			<input type="radio"/> 1 該当		平成 18 年 ~ 平成 年		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし		
		主要施策		(3)予防給付・介護給付の実施			<input checked="" type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等		低所得者に対する介護保険サービスに係る利用者負担額の軽減制度の実施について		
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)		申請を行った者のうち、平成12年5月1日老発第474号の軽減対象となる低所得者で市が必要と認めた者を対象とします。									
		目的(どうい う状態に したいのか)		最終的	低所得者で生計が困難である者について、申請に基づき県知事等に軽減を行うことを申し出た介護福祉サービス等の提供を行う社会福祉法人等に、一部補助金交付することで、利用者の負担を軽減することにより、介護保険サービスの利用促進を図ります。								
				今年度									
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)												
	① 利用者の申請に基づき対象者を決定し、軽減割合(原則1/4)・有効期限等を記載した確認証を交付し、社会福祉法人等は利用者が提示した確認証に基づき利用料を軽減します。												
	② 社会福祉法人等の負担した軽減総額のうち、本来受領すべき利用者負担収入のおおむね1%を超えた部分の1/2以下の範囲で軽減を行った法人に対し補助します。												
	③												
	④												
	⑤												
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	最終目標				
	低所得者サービス利用者		低所得者の救済措置として、認定者数を指標数値とします。		人	目標 →(維持)	→(維持)	→(維持)	→(維持)				
						実績 23	21						
						目標							
						実績							
						目標							
					実績								
DO	予算費目	会 計		款		項		目		備考			
	直接事業費	平成 20 年度決算		平成 21 年度決算		平成 22 年度予算							
		国庫支出金		450 千円		448 千円		900 千円		平成21年~平成23年度は介護報酬改定(+3%)により利用者の急激な負担額の上昇を抑えるため軽減割合を+3%します。			
		県支出金		千円		千円		千円					
		地方債		千円		千円		千円					
		その他特定財源		千円		千円		千円					
		一般財源		150 千円		150 千円		300 千円					
	計(A)		600 千円		598 千円		1,200 千円						
	人件費(B)	正職員工数・経費		0.063 人 385 千円		0.063 人 396 千円		0.063 人 387 千円					
		臨時・嘱託職種											
臨時・嘱託工数・経費		0.000 人 0 千円		0.000 人 0 千円		0.000 人 0 千円							
全体事業費(A+B)		985 千円		994 千円		1,587 千円							

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明	二次評価	
							少ない	大きい		少ない	大きい
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。					<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい	低所得者で生計が困難者の利用があった場合、社会福祉法人等の社会的な役割に鑑み、国の実施要領に則り必要な負担をしています。	<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。					<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある		<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない		<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる	全国的に実施されている事業であり、本市においても有効に機能しています。	<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる		<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない		<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる		<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。					<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている	社会福祉法人がその提供しているサービス内で実施しており、低所得者の負担軽減が図れています。	<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている	<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている	
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。					<input type="radio"/> あまり上がっていない		<input type="radio"/> あまり上がっていない	<input type="radio"/> あまり上がっていない	
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。					<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している		<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している	<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している	
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					<input type="radio"/> 十分達成している		<input type="radio"/> 十分達成している	<input type="radio"/> 十分達成している	
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当	提供社会福祉法人等が軽減事業を行っており、その社会的役割を發揮し最前線で効率的に行われています。	<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない		<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
ACTION	一次評価					二次評価					
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 4	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 4	総合評価 A
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等	
	当面の課題	社会福祉法人等に積極的に事業に取り組んでいただき、法人の利用者で対象者の把握に努めて行く必要があります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
	改革案と実行計画	社会福祉法人等に事業制度の周知を図っていきます。					社会福祉法人等が、軽減事業を実施しており、その社会的役割は大きく、効率的に行われている。				
	委員会指摘事項										

阿波市全庁評価シート 平成21年度実施事業対象

PLAN	No.	18	—	2	基本事務事業名	任意事業	事務事業名	介護給付費適正化事業	公的関与	1	シート作成日	平成22年6月14日			
	部局名	健康福祉部		課名	介護保険課		主務課長名	坂東重夫		シート作成者名	眞島博之				
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input checked="" type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託				
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input checked="" type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)		2. 安全・安心のまちづくり				実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(4)高齢者施策の充実				<input checked="" type="radio"/> 1 該当		平成 18 年 ~ 平成 年		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし			
		主要施策		(2)介護予防・健康づくりの推進				<input type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等		介護保険法			
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		介護サービスを利用している介護保険被保険者、介護サービスを提供している事業者											
		目的(どうい う状態に したいのか)		最終的	介護給付費や介護保険料の増大を抑制することを通じて、持続可能な介護保険制度を構築します。										
				今年度											
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	① 要介護認定調査を委託している事業者に対し、要介護認定の適正化を目的とした研修及び指導を実施します。														
	② 介護支援専門員が作成したケアプランの点検及び指導を実施します。														
	③ 介護サービスのうち、住宅改修、福祉用具貸与・購入にかかる実態調査を実施します。														
	④ 介護サービスを利用した被保険者に対して、介護給付費通知を発送します。														
	⑤ 国保連合会による医療情報との突合、縦覧点検の結果に基づき、介護サービスを提供している事業者に対し、指導を実施します。														
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	最終目標						
	介護保険料		平成23年度の介護保険事業計画の見直し時期に、必要な保険料を再設定する予定です。		円	目標				→(維持)					
						実績	4,700	4,795							
	介護サービスの充実		平成23年度の介護保険事業計画の見直し時期に、アンケートを実施する予定です。			目標									
						実績									
						目標									
					実績										
DO	予算費目	会 計	介護保険特別会計				款	5 地域支援事業		項	2 包括的支援事業・任意事業		目	5 任意事業	
			平成 20 年度決算	平成 21 年度決算	平成 22 年度予算	備考									
	直接事業費	国庫支出金	978 千円		464 千円		577 千円								
		県支出金	489 千円		232 千円		288 千円								
		地方債	千円		千円		千円								
		その他特定財源	489 千円		232 千円		288 千円								
		一般財源	459 千円		233 千円		291 千円								
		計(A)	2,415 千円		1,161 千円		1,444 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.150 人	918 千円		0.150 人	943 千円		0.150 人	922 千円					
		臨時・嘱託職種													
臨時・嘱託工数・経費		0.000 人	0 千円		0.000 人	0 千円		0.000 人	0 千円						
全体事業費(A+B)		3,333 千円		2,104 千円		2,366 千円									

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明				二次評価			
							少ない	大きい					少ない	大きい		
必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	厚生労働省の指導の下、平成19年度に徳島県においても「介護給付適正化計画」が作成され、平成20年度から各市町村も介護給付費の適正化事業を実施することになっています。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		
	3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
	4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	介護サービスを利用する被保険者と介護サービスを提供する事業者に、介護サービスに対する意識を向上させることで、良質な介護サービスの提供が思われます。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	目標設定が困難であるため一概に判断できませんが、平成21年度においては事業展開が不十分でありました。特に、ケアプランの点検及び指導について、実施が出来なかったためマイナス評価とします。しかし、グループホームに対する実地指導のマニュアルを作成し、実施することが出来ました。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	介護給付費の総額は単年度で30兆円を超え今後も増加すると予想されます。仮に0.1%でも伸び率を抑制することが出来れば、年間3千万円以上の介護給付費の抑制に繋がり、保険料の抑制にも繋がります。現時点では、人力的な理由で不十分な実施ですが、円滑に進めば費用対効果は十分良好と思われます。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
ACTION	一次評価					二次評価										
	評価点	必要性 3	有効性 4	達成度 2	効率性 3	総合評価 B	必要性 3	有効性 4	達成度 2	効率性 3	総合評価 B					
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等						
	当面の課題	目標達成の判断は、長期的な視点で判断する必要があります。現状では、介護サービスの事業者に対する点検・指導を強化することを中心として不適切な給付を削減することを短期的な目的としていますが、その効果的な手法の構築が当面の課題です。また、適正化事業の実施のために限られた人員でどの程度の推進が出来るかを見極める必要もあります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点									
	改革案と実行計画	介護給付費適正化システムにより介護サービスが不適切に利用されている可能性がある被保険者を抽出する段階で、ある程度の絞込みを行い、その後担当する介護支援専門員に対するケアプラン点検を実施する計画です。絞込みの条件については、サービス種別の偏りや頻度などを勘案する予定です。					介護給付の適正化及び介護保険制度の安定化対策としての観点から必要です。									
委員会指摘事項																

阿波市全庁評価シート 平成21年度実施事業対象

PLAN	No.	18	基本事務事業名	介護保険料賦課徴収事務	事務事業名	介護保険料賦課徴収事務	公的関与	1	シート作成日	平成22年6月14日		
	部局名	健康福祉部		課名	介護保険課		主務課長名	坂東 重夫		シート作成者名	友行 仁美	
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input checked="" type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託	
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等	
	総合計画	基本構想(政策)		2. 安全・安心のまちづくり			実施計画		事業の開始・終了			
		基本計画(施策)		(4)高齢者施策の充実			<input type="radio"/> 1 該当		平成 12 年 ~ 平成 年		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし	
		主要施策		(1)高齢者サービス提供体制の充実			<input checked="" type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等		介護保険法	
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		(65歳以上の)第1号被保険者								
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	第1号被保険者の保険料は、阿波市が定める保険料率(給付水準と対比し3年計画期間ごとの基準額)により必要額を算定し、介護保険事業の給付費用をまかなうために保険料を賦課し、国費等以外の必要な自主財源として保険料の徴収により財源確保をします。							
	事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)										
① 65歳以上の介護被保険者に対して、年金を受給している者のうち天引可能者については、保険料の特別徴収により財源確保します。												
② 65歳以上の介護被保険者に対して、特別徴収されない者については、保険料の普通徴収により財源確保します。												
③ 介護保険料納期は年6回(4月・6月・8月・10月・12月・2月)で賦課徴収します。												
④ 滞納者についての督促状・催告書の発送及び徴収事務												
⑤ 普通徴収対象者には口座振替の推奨												
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	最終目標		
	収納率		(収納額-還付未済額)÷調定額×100		%	目標	98.5	98.6	98.7	↑(向上)		
						実績	98.5	98.5				
						目標						
						実績						
						目標						
					実績							
DO	予算費目		会 計		款		項		目		備考	
			平成 20 年度決算	平成 21 年度決算	平成 22 年度予算							
	直接事業費	国庫支出金		千円	千円	千円						
		県支出金		千円	千円	千円						
		地方債		千円	千円	千円						
		その他特定財源		430 千円	618 千円	716 千円						
		一般財源		千円	千円	千円						
		計(A)		430 千円	618 千円	716 千円						
	人件費(B)	正職員工数・経費		2.000 人	12,237 千円	2.000 人	12,567 千円	2.000 人	12,291 千円			
		臨時・嘱託職種										
臨時・嘱託工数・経費		0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
全体事業費(A+B)		12,667 千円		13,185 千円		13,007 千円						

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	<input type="radio"/>	少ない	<input checked="" type="radio"/>	大きい	介護保険料の賦課徴収は、制度維持の自主財源確保の事務です。現在もそうであるが、高齢化社会に向けて無くてはならない制度であり、住民のニーズに応じていくべきものです。	<input type="radio"/>	少ない	<input checked="" type="radio"/>	大きい			
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	<input type="radio"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある		<input type="radio"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある			
	3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない			
	4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	<input type="radio"/>	いる	<input checked="" type="radio"/>	いない		<input type="radio"/>	いる	<input checked="" type="radio"/>	いない			
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる	全員の被保険者に対しての保険料の賦課徴収することにより、市の介護保険制度の安定維持が図れます。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる			
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる		<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる			
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	<input type="radio"/>	する	<input checked="" type="radio"/>	しない		<input type="radio"/>	する	<input checked="" type="radio"/>	しない			
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="radio"/>	できない	<input checked="" type="radio"/>	できる		<input type="radio"/>	できない	<input checked="" type="radio"/>	できる			
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている	特別徴収対象者との公平性を保つ観点から、徴収権利が2年で時効となる滞納繰越分普通徴収保険料の収納に重きを置いて徴収努力をし、不納欠損額を減少させます。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている							
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	<input type="radio"/>	あまり上がっていない		<input type="radio"/>	あまり上がっていない							
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	<input checked="" type="radio"/>	概ね達成している		<input checked="" type="radio"/>	概ね達成している							
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	<input type="radio"/>	十分達成している		<input type="radio"/>	十分達成している							
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	<input type="radio"/>	高い	<input checked="" type="radio"/>	適当	年金生活者にとっては、保険料は決して安くはないが、市内の介護保健施設(事業所)の充実を考慮すると適当であると思われます。	<input type="radio"/>	高い	<input checked="" type="radio"/>	適当			
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	<input type="radio"/>	できる	<input checked="" type="radio"/>	できない		<input type="radio"/>	できる	<input checked="" type="radio"/>	できない			
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない			
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない			
ACTION	評価点	一次評価					二次評価						
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価		
		4	4	3	4	A	4	4	3	4	A		
	今後の方向性	<input checked="" type="radio"/> 拡大・充実	<input type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等	<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等				
		<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止		<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止					
当面の課題	普通徴収対象者のうちサービス未利用者の一部には、制度そのものに理解が得られていない。「介護」が身近で切実な問題であることを説明し理解を求め、収納率向上に努める。また、地域包括支援センターと連携して介護予防事業を推進することにより、給付費の抑制と今後の介護保険料の高騰を抑えます。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点							
改革案と実行計画	広報紙・ケーブルテレビ等を積極的に活用し、制度の啓発又は必要性を懇切丁寧に伝えていきます。					阿波市の介護保険制度の安定運用を維持する方法として、被保険者への介護保険料の賦課徴収による財源確保が第一です。今後においても滞納者に対しての納付の必要性を促し、収納率向上に努めます。							
委員会指摘事項													

阿波市全庁評価シート 平成21年度実施事業対象

PLAN	No.	18	—	4	基本事務事業名	介護認定調査等事務	事務事業名	介護認定調査等事務	公的関与	1	シート作成日	平成22年6月14日			
	部局名	健康福祉部		課名	介護保険課		主務課長名	坂東 重夫		シート作成者名	秋山 雅彦				
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input checked="" type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託				
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)		2. 安全・安心のまちづくり				実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(4)高齢者施策の充実				<input type="radio"/> 1 該当		平成 18 年 ~ 平成 年		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし			
		主要施策		(3)予防給付・介護給付の実施				<input checked="" type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等		介護保険法			
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)		介護保険被保険者のうち要支援、要介護認定申請者											
		目的(どうい う状態に したいのか)		最終的	介護保険事業の適正な運用の為、被保険者のうち介護サービスを受ける必要がある者を、その心身等の状態に応じたサービス量が供給できる認定度に、位置付けをします。										
				今年度	被保険者の認定申請に基づき提出書類等審査と認定訪問調査書及び主治医の意見書等により、認定申請者の審査を徳島中央広域連合に依頼し、審査結果により、該当者に市が認定決定し介護保険被保険者証を交付することにより、認定該当者が介護保険事業所の介護保険給付を受けます。										
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	① 介護認定申請受付及び書類審査事務														
	② 認定訪問調査委託、主治医意見書等の依頼事務														
	③ 徳島中央広域連合会への介護認定申請者書類の進達事務														
	④ 介護認定決定者の給付台帳、決定通知書の事務処理														
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	最終目標					
	要支援・要介護認定者数		介護保険事業計画(3年 間)介護認定者数		人	目標	2,477	2,502	2,573	2,622					
						実績	2,450	2,479							
						目標									
						実績									
						目標									
					実績										
DO	予算費目	会 計	介護保険特別会計				款	1	総務費	項	3	介護認定審査会費	目	2	認定調査費
			平成 20 年度決算	平成 21 年度決算	平成 22 年度予算	備考									
	直接事業費	国庫支出金		千円	千円	千円									
		県支出金		千円	千円	千円									
		地方債		千円	千円	千円									
		その他特定財源		22,245 千円	23,102 千円	29,461 千円									
		一般財源		千円	千円	千円									
	計(A)			22,245 千円	23,102 千円	29,461 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	3.000 人	18,356 千円	2.000 人	12,567 千円	0.000 人	0 千円							
		臨時・嘱託職種	介護支援専門員		介護支援専門員		介護支援専門員								
臨時・嘱託工数・経費		2.000 人	3,960 千円	2.000 人	3,960 千円	3.000 人	5,940 千円								
全体事業費(A+B)			44,561 千円	39,629 千円	35,401 千円										

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
							少ない	大きい				少ない	大きい
必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	介護保険制度の適正な運用をし、保険財政を安定させ・介護サービスの公正な供給をするためになくってはならない制度です。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
	3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
	4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	各被保険者の心身等の状態に応じた介護サービス等を提供するために行う調査は、被保険者の状態を把握する最も有効な手段です。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	新規申請者は保険者自ら調査しており、また、認定は徳島中央広域連合で広域的に実施しているため審査員の公正さも保たれ、介護保険法の認定調査の位置づけとしては概ね適っています。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	徳島中央広域連合で広域的に実施しており、認定審査事務も概ねシステム化されており、単独実施より効率的に実施できています。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
ACTION	評価点	一次評価					二次評価						
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価		
		4	4	3	4	A	4	4	3	4	A		
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等			
		<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止			<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止				
当面の課題	平成21年10月より要介護認定基準が改正され、この結果として更新者の介護度等が下がる認定が多く出ており、これに対する申請者への説明対応に人員を取られまた、新規、更新認定申請も多く設定期間内の認定処理に困難をきたす場合があります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点							
改革案と実行計画	訪問調査員の行った調査項目・主治医等の意見から導かれる申請者の状態と「要介護認定等基準時間」という概念の普及と、申請者の状態像を数値化し統計結果(タイムケーススタディ)との関連性の分析による認定方式をわかりやすく説明できるように検討する必要があります。					認定調査は、被保険者の状態を把握する最も有効な手段であり、各被保険者の心身等の状態に応じた介護サービス等が提供できる。							
委員会指摘事項													

阿波市全庁評価シート 平成21年度実施事業対象

PLAN	No.	18	基本事務事業名	介護保険給付業務	事務事業名	居宅介護福祉用具購入事業	公的関与	1	シート作成日	平成22年6月8日			
	部局名	健康福祉部		課名	介護保険課	主務課長名	坂東重夫		シート作成者名	印藤隆重			
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業	<input type="radio"/> 3 経常的事務事業	<input checked="" type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営	<input type="checkbox"/> 3 全部委託					
		<input type="radio"/> 2 ハード事業	<input type="radio"/> 4 施設の維持管理	<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託	<input checked="" type="checkbox"/> 4 補助等					
	総合計画	基本構想(政策)		2. 安全・安心のまちづくり		実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(4)高齢者施策の充実		<input type="radio"/> 1 該当		平成 12 年 ~ 平成 年		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし			
		主要施策		(3)予防給付・介護給付の実施		<input checked="" type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等		介護保険法			
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)	自宅で生活をしている要介護認定者										
		目的(どうい う状態に したいのか)	最終的	要介護者からの申請により、介護状態に応じて、レンタルにそぐわない福祉用具の購入助成(9割)をすることにより、自宅なるべく自立した生活をできるように支援します。									
			今年度										
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)												
	① 入浴を補助する福祉用具(シャワーチェアや浴槽のまたぎやすくするためのすのこ等)の購入補助をします。												
	② 腰掛便座(ポータブルトイレや和式便器の上に置いて腰掛式に変換するもの等)の購入補助をします。												
	③												
	④												
	⑤												
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	最終目標			
	要介護者の福祉用具 購入申請件数		要介護認定者の福祉用具 購入者数です。		件	目標	140	140	160	現状維持			
						実績	138	162					
	要介護者の福祉用具 購入申請の給付金額		要介護認定者の福祉用具 購入の補助金額です。		千円	目標	3,453	4,306	5,400	現状維持			
						実績	3,453	4,306					
						目標							
					実績								
DO	予算費目	会 計	介護保険特別会計		款	2	保険給付費	項	1	介護サービス等諸費	目	7	居宅介護福祉用具購入費
			平成 20 年度決算	平成 21 年度決算	平成 22 年度予算	備考							
	直接事業費	国庫支出金	967 千円		1,166 千円		1,534 千円						
		県支出金	432 千円		538 千円		675 千円						
		地方債	千円		千円		千円						
		その他特定財源	1,502 千円		1,872 千円		2,295 千円						
		一般財源	552 千円		730 千円		896 千円						
		計(A)	3,453 千円		4,306 千円		5,400 千円						
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.020 人	122 千円	0.020 人	126 千円	0.020 人	123 千円					
		臨時・嘱託職種											
臨時・嘱託工数・経費		0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円						
全体事業費(A+B)		3,575 千円		4,432 千円		5,523 千円							

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明	二次評価	
							少ない	大きい		少ない	大きい
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。					<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい	要介護者が自宅で自立した生活を送るために欠かせない制度ですので、必要です。	<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。					<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある		<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない		<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる	要介護者が自宅で自立した生活を送るために欠かせない制度であり他の事業や施策によって代えることができませんので有効です。	<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる		<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない		<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる		<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。					<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている		認定者の増減があまりなく、介護保険の対象となって必要とされている福祉用具を購入は適切であると判断できますので、現状維持を目標とします。	<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている	
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。					<input type="radio"/> あまり上がっていない			<input type="radio"/> あまり上がっていない	
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。					<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している			<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している	
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					<input type="radio"/> 十分達成している			<input type="radio"/> 十分達成している	
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当	実施手段等の見直す余地がほとんどありません。	<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない		<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
ACTION	一次評価					二次評価					
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 4	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 4	総合評価 A
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等	
	当面の課題	特にありません。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
	改革案と実行計画	現状維持を目標とします。					要介護者が自宅で自立した生活を維持していくためにも欠かせない制度である。				
	委員会指摘事項										

阿波市全庁評価シート 平成21年度実施事業対象

PLAN	No.	18	—	6	基本事務事業名	介護保険給付業務	事務事業名	居宅介護住宅改修事業	公的関与	1	シート作成日	平成22年6月8日			
	部局名	健康福祉部		課名	介護保険課		主務課長名	坂東重夫		シート作成者名	印藤隆重				
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input checked="" type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託				
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input checked="" type="checkbox"/> 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)		2. 安全・安心のまちづくり				実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(4)高齢者施策の充実				<input type="radio"/> 1 該当		平成 12 年 ~ 平成 年		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし			
		主要施策		(3)予防給付・介護給付の実施				<input checked="" type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等		介護保険法			
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		在宅で生活をしている要介護認定者											
		目的(どうい う状態に したいのか)		最終的	ケアマネを通して要介護者からの申請により、介護状態に応じて、必要な住宅改修を行った場合に費用助成(9割)をすることにより、自宅でなるべく自立した生活をできるように支援します。										
				今年度											
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	① 手すりの取り付けの補助をします。														
	② 段差の解消の補助をします。														
	③ 滑り防止・移動の円滑化等のための床又は通路面の材料変更の補助をします。														
	④ 引き戸等への扉の取り換えの補助をします。														
	⑤ 洋式便器等への便座の取り換えの補助をします。														
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	最終目標					
	要介護認定者の住宅改修申請件数		要介護認定者の住宅改修の申請件数です。		件	目標	110	110	100	減少傾向を容認					
						実績	92	90							
	要介護認定者の住宅改修申請の給付金額		要介護認定者の住宅改修の補助金額です。		千円	目標	9,540	8,858	12,000	減少傾向を容認					
						実績	9,540	8,858							
						目標									
						実績									
DO	予算費目	会 計	介護保険特別会計				款	2	保険給付費	項	1	介護サービス等諸費	目	8	居宅介護住宅改修費
			平成 20 年度決算	平成 21 年度決算	平成 22 年度予算	備考									
	直接事業費	国庫支出金	2,680 千円		2,521 千円		3,419 千円								
		県支出金	1,193 千円		1,107 千円		1,500 千円								
		地方債	千円		千円		千円								
		その他特定財源	4,150 千円		3,764 千円		5,100 千円								
		一般財源	1,517 千円		1,463 千円		1,981 千円								
		計(A)	9,540 千円		8,855 千円		12,000 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.030 人	184 千円	0.030 人	189 千円	0.030 人	184 千円							
		臨時・嘱託職種													
臨時・嘱託工数・経費		0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円								
全体事業費(A+B)		9,724 千円		9,044 千円		12,184 千円									

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
							少ない	大きい				少ない	大きい
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。					<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい	要介護者が自宅で自立した生活を送るために欠かせない制度ですので、必要です。			<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。					<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある				<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない				<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない				<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる	要介護者が自宅で自立した生活を送るために欠かせない制度です。他に類似事業で高齢者住宅改修を社会福祉課で取り扱っています。			<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる				<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					<input checked="" type="radio"/> する	<input type="radio"/> しない				<input checked="" type="radio"/> する	<input type="radio"/> しない
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる				<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。					<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている	住宅の近代化に伴い、もともとバリアフリーの住居や洋式トイレがある家が増えてきていますので、件数や費用は年々減少しています。			<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている		
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。					<input type="radio"/> あまり上がっていない				<input type="radio"/> あまり上がっていない		
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。					<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している				<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している		
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					<input type="radio"/> 十分達成している				<input type="radio"/> 十分達成している		
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当	住み替え、借り換え等を考慮にいと必ずしも住宅改修がベストであるとは言いきれません。病院やお店の近くに市営の高齢者に対応した住宅を造りそちらへ入居してもらうのも方法の一つ			<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない				<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない				<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない				<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
ACTION	評価点	一次評価					二次評価						
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価		
	今後の方向性	4	3	3	4	A	4	3	3	4	A		
		<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等			
	当面の課題	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止			<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止				
		介護保険法では、上限金額が20万円までです。徳島県内には無いが、市の条例などにより上限額を引き上げている自治体もあります。住み替え、借り換えの補助なども検討課題。リフォームヘルパー等の専門家のアドバイスを受けられるような仕組みづくりが必要。(徳島市、美馬市導入済み)					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点						
改革案と実行計画	住宅改修では現状維持。高齢者のみの世帯では、移手段が限られてきたりするので、市営バスの運行や、病院やお店に近い市営高齢者住宅等の推進が必要です。					要介護者が自宅で自立した生活を送るためにも欠かせない制度です。							
委員会指摘事項													

阿波市全庁評価シート 平成21年度実施事業対象

PLAN	No.	18	基本事務事業名	介護保険給付業務	事務事業名	介護予防福祉用具購入事業	公的関与	1	シート作成日	平成22年6月8日		
	部局名	健康福祉部		課名	介護保険課	主務課長名	坂東重夫		シート作成者名	印藤隆重		
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業	<input type="radio"/> 3 経常的事務事業	<input checked="" type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営	<input type="checkbox"/> 3 全部委託				
		<input type="radio"/> 2 ハード事業	<input type="radio"/> 4 施設の維持管理	<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託	<input checked="" type="checkbox"/> 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)		2. 安全・安心のまちづくり		実施計画		事業の開始・終了				
		基本計画(施策)		(4)高齢者施策の充実		<input type="radio"/> 1 該当		平成 12 年 ~ 平成 年		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし		
		主要施策		(2)介護予防・健康づくりの推進		<input checked="" type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等		介護保険法		
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		要支援認定者								
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	要支援認定者からの申請により、介護状態に応じて、レンタルにそぐわない福祉用具の購入助成(9割)をすることにより、自宅なるべく自立した生活をできるように支援します。							
				今年度								
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)											
	① 入浴を補助する福祉用具(シャワーチェアや浴槽のまたぎやすくするためのすのこ等)の購入補助をします。											
	② 腰掛便座(ポータブルトイレや和式便器の上に置いて腰掛式に変換するもの等)の購入補助をします。											
	③											
	④											
	⑤											
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由	単位		平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	最終目標			
	要支援の福祉用具購入申請件数	要支援認定者の福祉用具購入者数です。		件	目標	82	82	80	現状維持			
					実績	82	71					
	要支援の福祉用具購入申請の給付金額	要支援認定者の福祉用具購入の補助金額です。		千円	目標	1,911	1,522	2,280	現状維持			
					実績	1,911	1,522					
						目標						
					実績							
DO	予算費目	会 計	介護保険特別会計		款	2 保険給付費	項	2 介護予防サービス等諸費	目	5 介護予防福祉用具購入費		
			平成 20 年度決算	平成 21 年度決算	平成 22 年度予算	備考						
	直接事業費	国庫支出金	538 千円		428 千円		653 千円					
		県支出金	239 千円		190 千円		285 千円					
		地方債	千円		千円		千円					
		その他特定財源	832 千円		663 千円		969 千円					
		一般財源	303 千円		241 千円		373 千円					
		計(A)	1,912 千円		1,522 千円		2,280 千円					
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.020 人	122 千円	0.020 人	126 千円	0.020 人	123 千円				
		臨時・嘱託職種										
臨時・嘱託工数・経費		0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
全体事業費(A+B)		2,034 千円		1,648 千円		2,403 千円						

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
							少ない	大きい				少ない	大きい
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。					<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい	要支援認定者が自宅で自立した生活を送るために欠かせない制度ですので、必要です。			<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。					<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある				<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない				<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない				<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる	要支援認定者が自宅で自立した生活を送るために欠かせない制度であり他の事業や施策によって代えることができませんので有効です。			<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる				<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない				<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる				<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。					<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている	認定者の増減があまりなく、介護保険の対象となって必要とされている福祉用具を購入は適切であると判断できますので、現状維持を目標とします。			<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている		
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。					<input type="radio"/> あまり上がっていない				<input type="radio"/> あまり上がっていない		
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。					<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している				<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している		
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					<input type="radio"/> 十分達成している				<input type="radio"/> 十分達成している		
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当	実施手段等の見直す余地がほとんどありません。			<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない				<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない				<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない				<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
ACTION	一次評価					二次評価							
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 4	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 4	総合評価 A		
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等			
	当面の課題	特にありません。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点						
	改革案と実行計画	現状維持を目標とします。					要支援認定者が自宅で自立した生活を送るためには欠かせない制度です。						
	委員会指摘事項												

阿波市全庁評価シート 平成21年度実施事業対象

PLAN	No.	18	—	8	基本事務事業名	介護保険給付業務	事務事業名	介護予防住宅改修事業	公的関与	1	シート作成日	平成22年6月2日		
	部局名	健康福祉部		課名	介護保険課		主務課長名	坂東重夫		シート作成者名	印藤隆重			
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input checked="" type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託			
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input checked="" type="checkbox"/> 4 補助等			
	総合計画	基本構想(政策)		2. 安全・安心のまちづくり				実施計画		事業の開始・終了				
		基本計画(施策)		(4)高齢者施策の充実				<input type="radio"/> 1 該当		平成 12 年 ~ 平成 年		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし		
		主要施策		(3)予防給付・介護給付の実施				<input checked="" type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等		介護保険法		
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		要支援認定者										
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	ケアマネを通して要支援認定者からの申請により、介護状態に応じて、必要な住宅改修を行った場合に費用助成(9割)をすることにより、自宅でなるべく自立した生活をできるように支援します。									
				今年度										
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)													
	① 手すりの取り付けの補助をします。													
	② 段差の解消の補助をします。													
	③ 滑り防止・移動の円滑化等のための床又は通路面の材料変更の補助をします。													
	④ 引き戸等への扉の取り換えの補助をします。													
	⑤ 洋式便器等への便座の取り換えの補助をします。													
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	最終目標				
	要支援認定者の住宅改修申請件数		要支援認定者の住宅改修申請件数です。		件	目標	80	80	70	減少傾向を容認				
						実績	83	64						
	要支援認定者の住宅改修申請の給付金額		要支援認定者の住宅改修の補助金額です。		千円	目標	6,171	5,124	7,800	減少傾向を容認				
						実績	6,171	5,124						
						目標								
						実績								
DO	予算費目	会 計	介護保険特別会計				款	2	保険給付費	項	2	介護予防サービス等諸 目	8	介護予防住宅改修費
			平成 20 年度決算	平成 21 年度決算	平成 22 年度予算	備考								
	直接事業費	国庫支出金	1,733 千円		1,439 千円		2,241 千円							
		県支出金	772 千円		641 千円		975 千円							
		地方債	千円		千円		千円							
		その他特定財源	2,685 千円		2,229 千円		3,315 千円							
		一般財源	981 千円		815 千円		1,269 千円							
		計(A)	6,171 千円		5,124 千円		7,800 千円							
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.030 人	184 千円	0.030 人	189 千円	0.030 人	184 千円						
		臨時・嘱託職種												
臨時・嘱託工数・経費		0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円							
全体事業費(A+B)		6,355 千円		5,313 千円		7,984 千円								

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。					<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい	要支援者が自宅で自立した生活を送るために欠かせない制度です。必要です。	<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい		
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。					<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある		<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある		
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない		<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない		
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる	要支援者が自宅で自立した生活を送るために欠かせない制度です。他に類似事業で高齢者住宅改修を社会福祉課で取り扱っています。	<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる		
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる		<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる		
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない		<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない		
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる		<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる		
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。					<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている	住宅の近代化に伴い、もともとバリアフリーの住居や洋式トイレがある家が増えてきていますので、件数や費用は年々減少しています。	<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている				
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。					<input type="radio"/> あまり上がっていない		<input type="radio"/> あまり上がっていない				
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。					<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している		<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している				
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					<input type="radio"/> 十分達成している		<input type="radio"/> 十分達成している				
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当	住み替え、借り換え等を考慮にいと必ずしも住宅改修がベストであるとは言いきれません。病院やお店の近くに市営の高齢者に対応した住宅を造りそちらへ入居してもらおうも方法の一つ	<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当		
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない		<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない		
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		
ACTION	評価点	一次評価					二次評価						
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価		
	今後の方向性	4	4	3	4	A	4	4	3	4	A		
		<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等			
	当面の課題	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止			<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止				
		介護保険法では、上限金額が20万円までです。徳島県内には無いが、市の条例などにより上限額を引き上げている自治体もあります。住み替え、借り換えの補助なども検討課題。リフォームヘルパー等の専門家のアドバイスを受けられるような仕組みづくりが必要。(徳島市、美馬市導入済み)					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点						
改革案と実行計画	住宅改修では現状維持。高齢者のみの世帯では、移手段が限られてきたりするので、市営バスの運行や、病院やお店に近い市営高齢者住宅等の推進が必要です。					要支援者が自宅で自立した生活を送るためにも欠かせない制度です。							
委員会指摘事項													

阿波市全庁評価シート 平成21年度実施事業対象

PLAN	No.	18	基本事務事業名	介護保険給付事務	事務事業名	特定入所者介護サービス給付事業	公的関与	1	シート作成日	平成22年6月14日		
	部局名	健康福祉部		課名	介護保険課	主務課長名	坂東 重夫		シート作成者名	秋山 雅彦		
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業	<input type="radio"/> 3 経常的事務事業	<input checked="" type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営	<input type="checkbox"/> 3 全部委託				
		<input type="radio"/> 2 ハード事業	<input type="radio"/> 4 施設の維持管理	<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託	<input type="checkbox"/> 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)	2. 安全・安心のまちづくり			実施計画	事業の開始・終了					
		基本計画(施策)	(4)高齢者施策の充実			<input type="radio"/> 1 該当	平成 18 年	～	平成 年	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし		
		主要施策	(3)予防給付・介護給付の実施			<input checked="" type="radio"/> 2 非該当	根拠法令等	介護保険法51条等				
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)	低所得の要介護被保険者(市町村村民税世帯非課税等の利用者負担第1・第2・第3段階の方)									
		目的(どうい う状態に したいのか)	最終的	介護保険制度で、施設サービス(特別養護老人ホーム等)の利用者で低所得の要介護者に負担限度額を設定し、利用者から負担限度額までを徴収することで低所得者の負担軽減をします。								
			今年度									
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)											
	① 施設サービス・短期入所サービスの食費・居住費(滞在費)の利用者の認定証に応じた負担限度額までを施設事業者が徴収します。											
	② 保険者は低所得の要介護被保険者が施設(介護保険施設等)に入所したことによる、費用(基準額)に対して限度額超過部分を入所施設に直接支給(代理受領方式)します。											
	③											
	④											
	⑤											
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名	計算式又は指標設定理由	単位		平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	最終目標				
	特定入所者介護サービス利用者	特定入所者介護サービス利用者数を指標としています。	人	目標	3,768	4,050	→(維持)		→(維持)			
				実績	3,768	4,050						
				目標								
				実績								
				目標								
実績												
DO	予算費目	会 計	介護保険特別会計		款	2 介護給付費	項	7 特定入所者介護サービス費	目	1 特定入所者介護サービス費		
	直接事業費		平成 20 年度決算	平成 21 年度決算	平成 22 年度予算	備考						
		国庫支出金	29,099 千円	30,735 千円	31,971 千円	利用者数の微増を考慮して、第4次事業計画(平成21年度～平成23年度)で目標数値を4,050人に見直ししました						
		県支出金	21,469 千円	22,625 千円	23,439 千円							
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円							
		その他特定財源	53,648 千円	55,467 千円	57,681 千円							
		一般財源	19,367 千円	21,683 千円	22,629 千円							
	計(A)	123,583 千円	130,510 千円	135,720 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.010 人	61 千円	0.010 人	63 千円	0.010 人	61 千円				
		臨時・嘱託職種										
臨時・嘱託工数・経費		0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
全体事業費(A+B)		123,644 千円		130,573 千円		135,781 千円						

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。					<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい	低所得の利用者がその持てる能力の維持向上に、介護サービスを利用するためには必要な制度です。	<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい		
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。					<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある		<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある		
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない		<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない		
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる	本人の選択に基づいた利用を促進するためには有効な制度です。	<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる		
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる		<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる		
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない		<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない		
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる		<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる		
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。					<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている	低所得者がその能力の維持と向上に必要な施設サービスがその負担能力に応じて受け取ることができます。	<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている				
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。					<input type="radio"/> あまり上がっていない		<input type="radio"/> あまり上がっていない				
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。					<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している		<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している				
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					<input type="radio"/> 十分達成している		<input type="radio"/> 十分達成している				
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当	法制化されている通り効率的な手法です。	<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当		
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない		<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない		
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		
ACTION	一次評価					二次評価							
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 4	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 4	総合評価 A		
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等			
	当面の課題	保険者として事業計画と利用状況推移に注意を払っていきます。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点						
	改革案と実行計画	次期事業計画の資料としてデータの蓄積に努めます。					低所得の利用者がその持てる能力の維持と向上に、介護サービスを利用するためには必要な制度です。						
	委員会指摘事項												

阿波市全庁評価シート 平成21年度実施事業対象

PLAN	No.	18	10	基本事務事業名	介護保険給付業務	事務事業名	特定入所者介護予防サービス給付業務	公的関与	1	シート作成日	平成22年6月14日			
	部局名	健康福祉部		課名	介護保険課	主務課長名	坂東 重夫	シート作成者名	秋山 雅彦					
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input checked="" type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託			
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input checked="" type="checkbox"/> 4 補助等			
	総合計画	基本構想(政策)		2. 安全・安心のまちづくり			実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(4)高齢者施策の充実			<input type="radio"/> 1 該当		平成 18 年 ~ 平成 年		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし			
		主要施策		(3)予防給付・介護給付の実施			<input checked="" type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等		介護保険法			
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		要支援被保険者(市町村民税世帯非課税等の低所得者)										
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	介護保険制度を適正に運用することにより、特定施設事業者(特別養護老人ホーム等)の要支援者に介護予防サービス等を提供します。									
	事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)												
① 要支援被保険者が入所利用した、特定施設(特別養護老人ホーム、経費老人ホーム等)に対して費用(基準額)の保険者負担分を支給します。														
② 施設サービス・短期入所サービスの食費・居住費(滞在費)負担の限度額を超える部分について支給します。														
③														
④														
⑤														
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	最終目標					
	特定入所者介護予防サービス利用者		特定入所者介護予防サービス利用者数を指標としています。		人	目標 →(維持)	10	→(維持)	→(維持)					
						実績 8	6							
						目標								
						実績								
						目標								
					実績									
DO	予算費目	会 計	介護保険特別会計			款	2	保険給付費	項	7	特定入所者介護サ一	目	3	特定入所者介護予防サ一
			平成 20 年度決算	平成 21 年度決算	平成 22 年度予算	備考								
	直接事業費	国庫支出金	16 千円		14 千円		98 千円		利用者数の実績を考慮して、第4次事業計画(平成21年度~平成23年度)で目標数値を10人に見直し計画の範囲内で実施されています。					
		県支出金	7 千円		8 千円		45 千円							
		地方債	0 千円		千円		0 千円							
		その他特定財源	25 千円		29 千円		153 千円							
		一般財源	9 千円		17 千円		64 千円							
	計(A)		57 千円		68 千円		360 千円							
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.010 人	61 千円		0.010 人	63 千円		0.010 人	61 千円				
		臨時・嘱託職種												
臨時・嘱託工数・経費		0.000 人	0 千円		0.000 人	0 千円		0.000 人	0 千円					
全体事業費(A+B)		118 千円		131 千円		421 千円								

		チェック項目				一次評価		一次評価の説明		二次評価	
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。				<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい	評価対象事業は法定事業で、市が保険者となっており不可欠な事業です。		<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。				<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある			<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。				<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない			<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。				<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない			<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。				<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる	介護保険制度上有効なものです。		<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。				<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる			<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。				<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない			<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。				<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる			<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。				<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている	目標値には至っていませんが、介護保険事業の全体計画からすれば十分達成しています。		<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている		
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。				<input type="radio"/> あまり上がっていない			<input type="radio"/> あまり上がっていない		
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。				<input type="radio"/> 概ね達成している			<input type="radio"/> 概ね達成している		
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。				<input checked="" type="radio"/> 十分達成している			<input checked="" type="radio"/> 十分達成している		
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。				<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当	介護保険制度の中で効率的に実施されています。		<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。				<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない			<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。				<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない			<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。				<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない			<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
ACTION	一次評価					二次評価					
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 4	効率性 4	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 4	効率性 4	総合評価 A
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等	
	当面の課題	第4次計画の範囲内で実施されており、課題となる事はありません。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
	改革案と実行計画						この事業については、法定事業であり、市が保険者となっており不可欠な事業です。				
	委員会指摘事項										